

生産者支援サービス 「ベジネコ」を活用した経営改善手法について

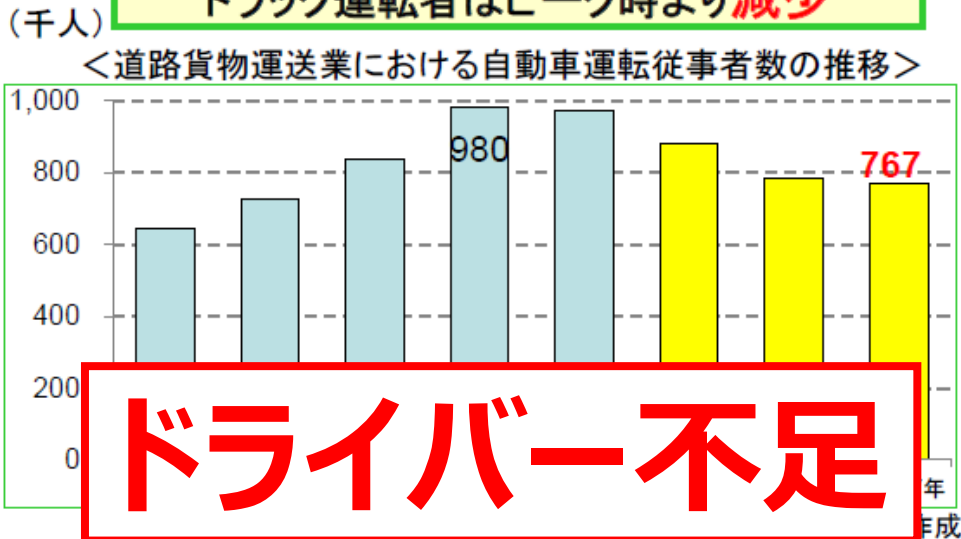
2019年10月15日
ヤマト運輸株式会社



ヤマトグループ

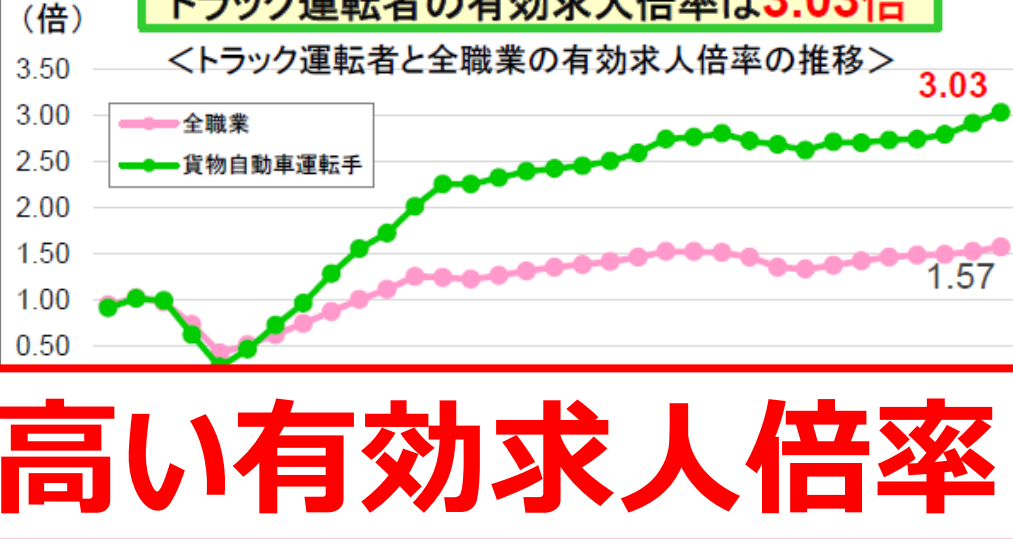
物流業界の変化①

トラック運転者はピーク時より減少



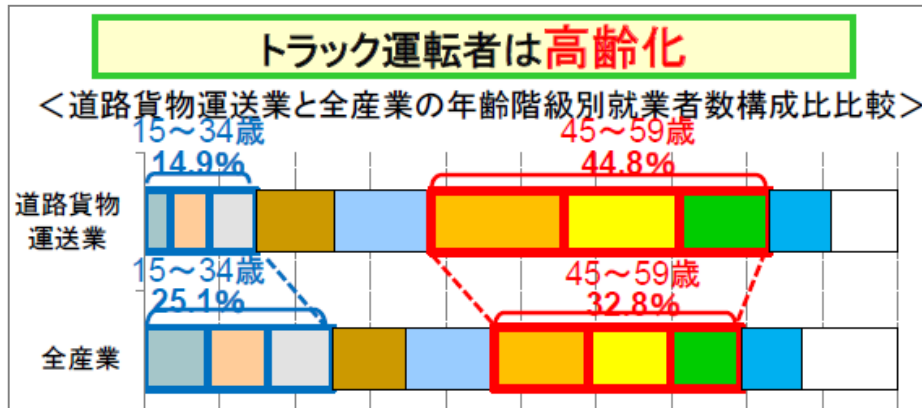
ドライバー不足

トラック運転者の有効求人倍率は3.03倍



高い有効求人倍率

トラック運転者は高齢化



ドライバーの高齢化

物流業界の変化②

宅配

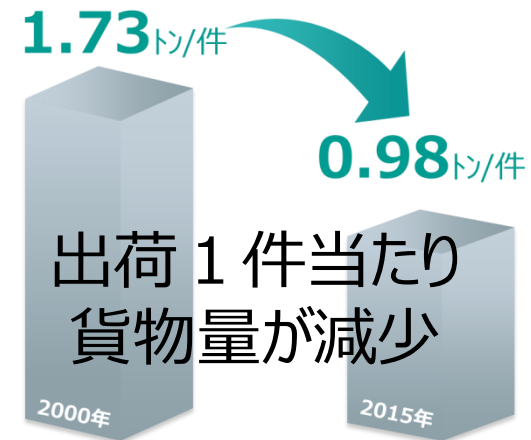
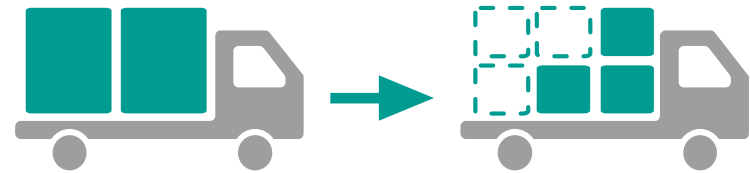
Eコマースの拡大



国土交通省：宅配便取扱実績より

商業貨物

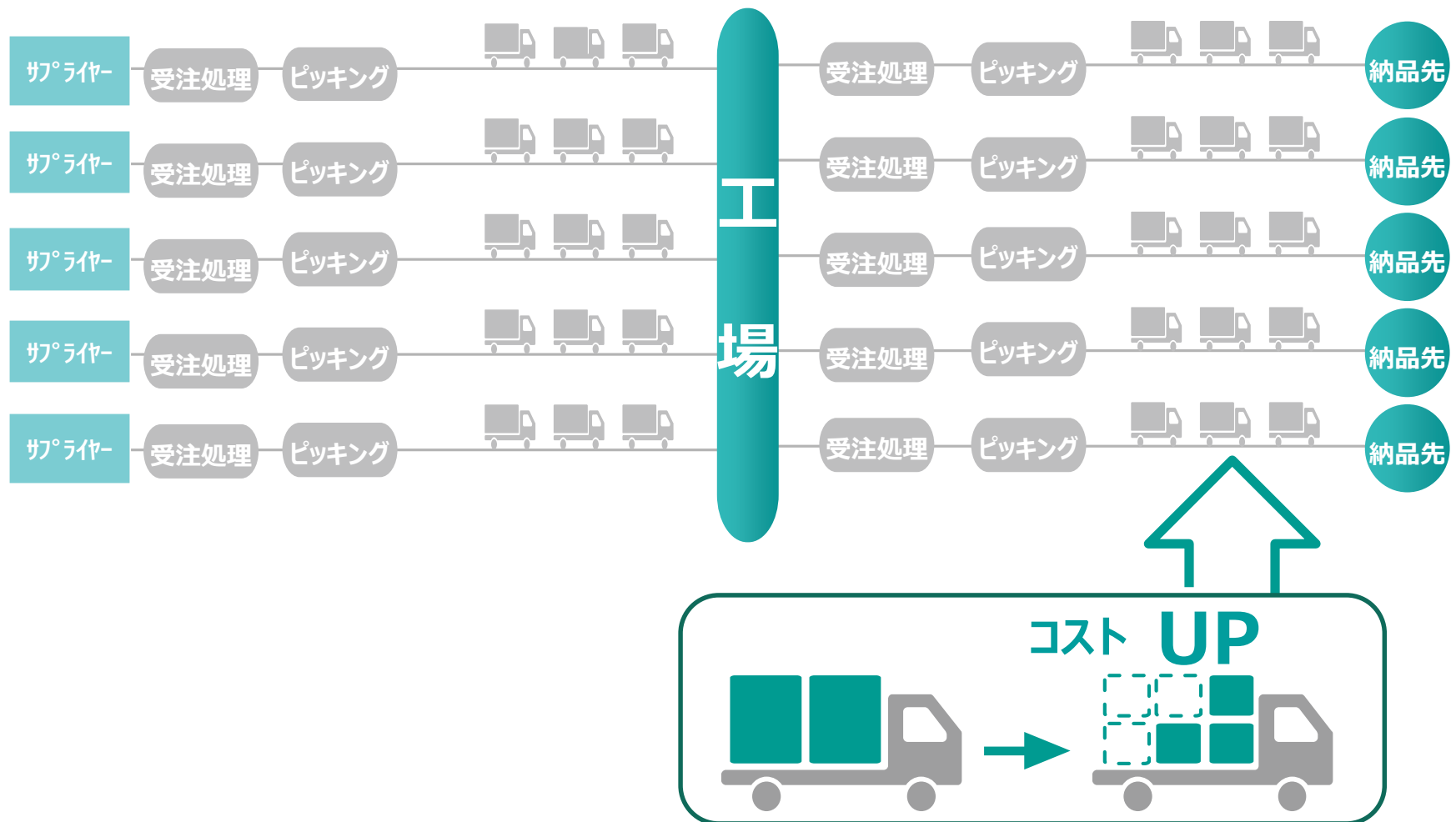
貨物の小口化



国土交通省：物流センサスより

物流業界の変化③

ニーズ多様化に対応するとともに、
在庫の最小化を図るために多頻度・小ロット化が進行



物流業界の変化④



UP

【需要】

物量・輸送機会
(荷物を運んで欲しい人)



DOWN

【供給】

ドライバー
(荷物を運びたい人)

物流危機と呼ばれる時代に突入

①行政処分の強化

拘束時間 (始業から終業までの時間)	<ul style="list-style-type: none">・1日 原則13時間以内 最大16時間以内(15時間超えは1週間2回以内)・1か月 293時間以内
休息期間 (勤務と次の勤務の間の自由な時間)	<ul style="list-style-type: none">・継続して8時間以上
運転時間	<ul style="list-style-type: none">・2日平均で、1日あたり9時間以内・2週間平均で、1週間あたり44時間以内
連続運転時間	<ul style="list-style-type: none">・4時間以内

トラック事業者は、「改善基準告示」という拘束時間、運転時間等のルールを遵守する必要があり、違反した場合、事業停止処分、車両停止処分等の行政処分の対象となります。

物流業界の変化⑥

②標準運送約款の改正

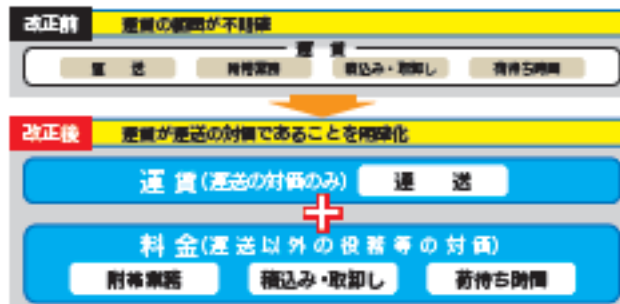
国土交通省が制定するトラック事業者と荷主の契約書のひな形である標準運送約款を改正し、**運送の対価である「運賃」と、荷役料、待機時間料などの「料金」**の区別の明確化等を行いました。

平成29年11月4日よりトラック運送における**運賃・料金の収受ルールが変わりました。**

標準貨物自動車運送約款等の改正概要

①「運賃」と「料金」の区別を明確化しました

運賃が運送の対価であることを明確化します。



②「待機時間料」を新たに規定しました

荷主都合による荷待ち時間の対価を「待機時間料」とします。



③ 附帯業務の内容をより明確化しました

附帯業務の内容に「梱入れ」、「ラベル貼り」等[※]を追加します。

※その他追加する附帯業務：「検封し」、「検封し」、「検印作業（倉庫等において荷物を一定の方法で規則正しく積み上げたり取り下ろす作業）」



荷主さま側の影響

①改善基準告示違反
⇒拘束時間16時間以上

休息8時間



②追加料金の発生
⇒荷役料、待機時間料

物流コストの増加

物流費の構成について

- ・人件費
 - ・固定費（車両購入費・保険など）
 - ・変動費（高速代・ガソリン代）
- ⇒その中でも人件費の構成割合が高い

物流費を抑えるポイントは人件費を抑える

⇒人件費は時間×単価で決まる

物流コストを抑えるには

人件費を下げるには

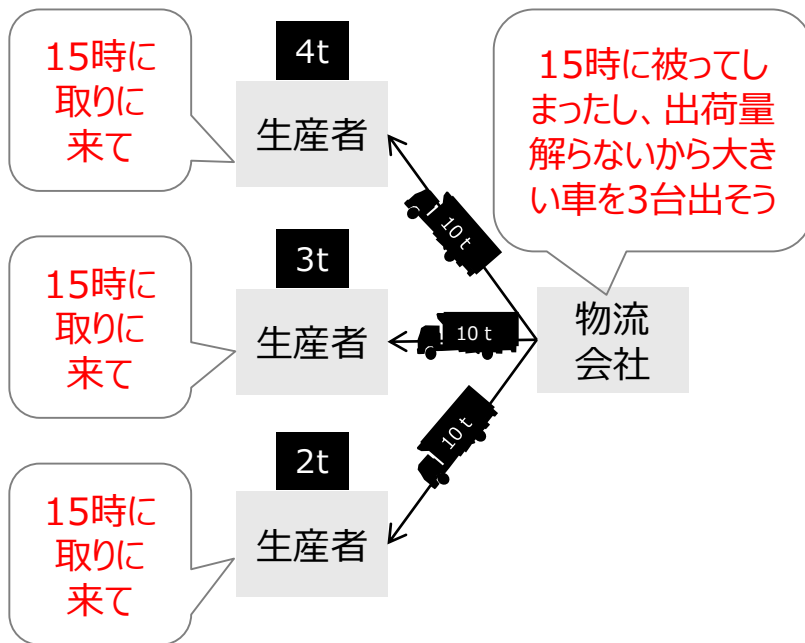
時間を減らす + 単価を下げる



物流コストを抑えるには～集荷・配達～

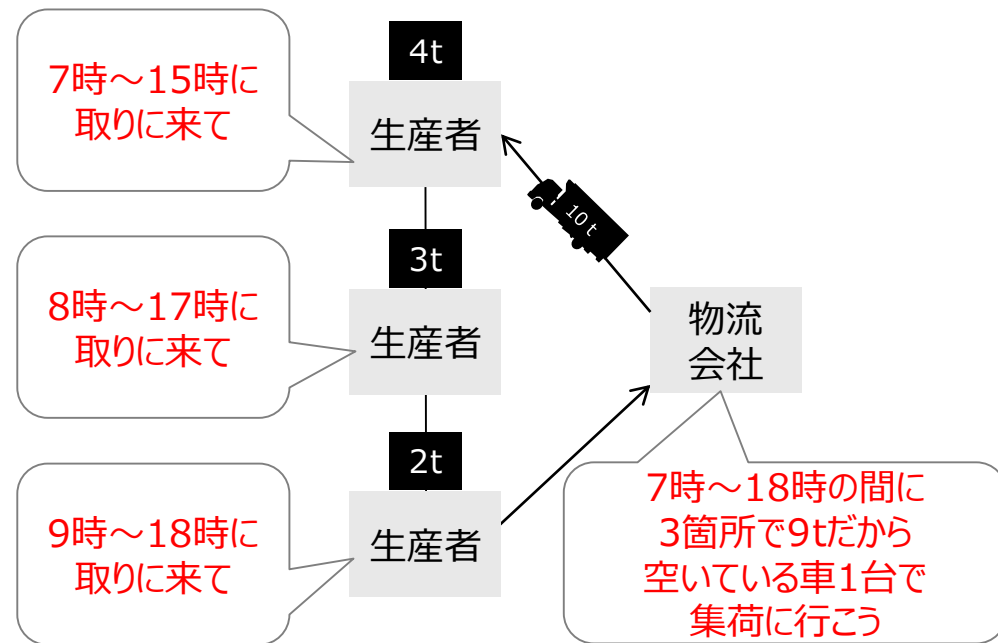


【効率化前】



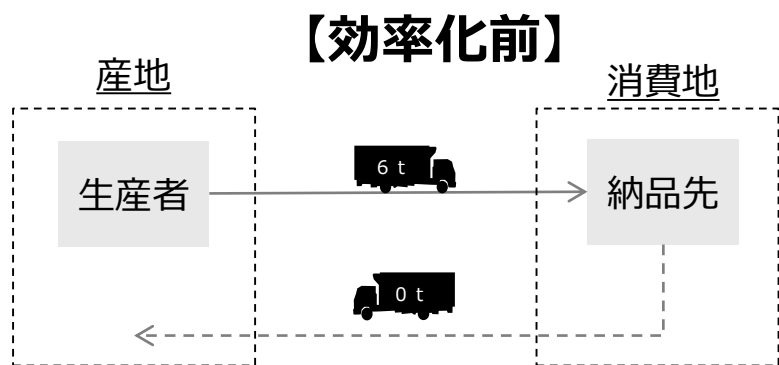
時間：車両3台稼動
単価：時間指定・低積載

【効率化後】

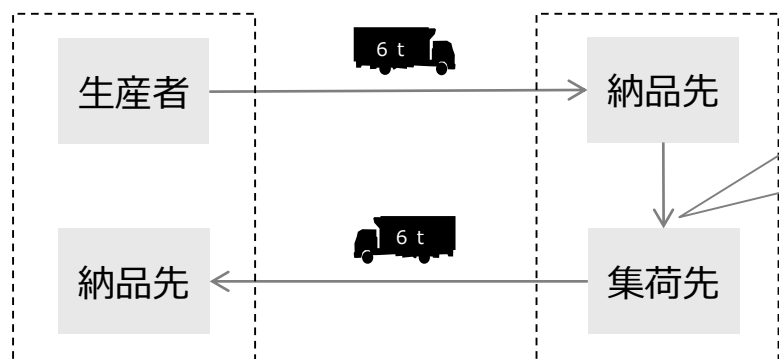


時間：車両1台稼動
単価：時間指定無し・高積載

物流コストを抑えるには～幹線輸送～

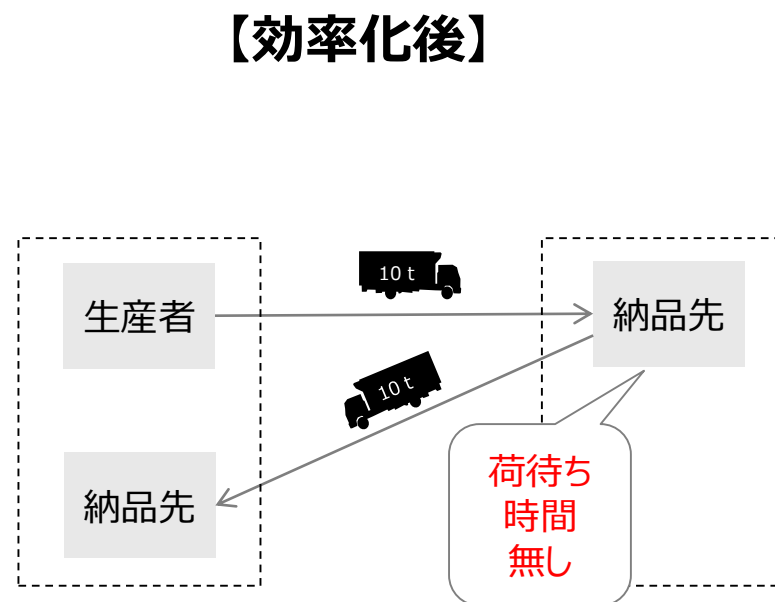


単価：低積載・帰り荷無



時間：荷待ち時間

単価：低積載



時間：荷待ち時間無し

単価：高積載帰り荷有

物流費を抑えるポイントは人件費を抑える

⇒人件費は時間×単価で決まる



どう効率的な輸送計画を組むか

どう効率的に輸送するか

が大事になります。

お客様のニーズは多様化しているのに、 作り手はローカライズ化が進み始めている

生産

物流コストが高いから
道の駅の販売を増やそう
地元のスーパーに売ろう

お客様

ミールキットって
便利

ケールって初めて
食べたけどおいしい

あそこの農園のトマトな
ら子供が食べる

物流コストの上昇

⇒ローカライズ化

選択肢の拡大

⇒ニーズの多様化

サプライチェーン全体の課題

品質がよく、使いやすい
商品を提案してくれる方が
いると助かる

多様化する
お客様のニーズに
対応が必要

生産

供給

オイシックス・ラ・大地



ニーズの
多様化

お客様

その為に
仕入れネットワークの
構築が必要

1. 生産者の負担の少ない輸送網が必要

- ✓ ニーズの多様化により、多品種、**中~小ロット化**が進んでいる
- ✓ 結果、1箱あたりの**物流コストが上昇**し、負担は増えてしまう
(負担増→小売りも販売価格が上昇→商品代が高くなり買わなくなる)

2. ニーズの多様化に対応するため、小売り⇔生産者を「見える化」し、効率のよい仕組みづくりが必要

- ✓ 生産者の**事務負担を軽減**し、生産と営業に注力できる体制の構築
- ✓ それを支援する**サプライチェーン全体を効率化**する仕組みを作る

課題解決の方向性

改善領域



生産者

Oisix ra daichi



Oisix



大地を守る会
DAICHI WO MAMORU KAI



消費者

生産
受発注処理
発送

輸送

販売
流通加工
出荷

配送
お届け

- 受発注処理を簡単にできる仕組みにすることで、手間を軽減し、時間を作る⇒商談機会を増やす
- 出荷量や納品タイミングを**見える化**して効率的な輸送網を構築
- 納品タイミングを**見える化**して、出荷センターの効率化を進める

ベジネコの基本機能

青果品流通の
商習慣に沿った

受注管理
システム

+

受注データを
活用した

共同配送
※宅急便ではありません

ベジネコの機能①

クラウド型の受注管理システムなので
外出先でも受注処理や出荷割振りができます



受注処理が
外出先でも
出来るので
営業時間アップ



出荷割振りが
外出先でも
出来るので
商品開発など
本来業務時間UP

外出が可能になり商談機会の増加へ

ベジネコの機能②

スマートフォンでも使えるので
生産者や圃場担当者とのやり取りもスムーズに行えます



スマートフォンで
出荷回答ができるので
FAXやり取りが不要

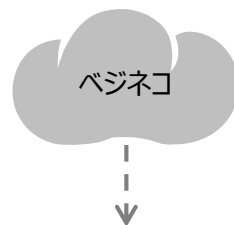


圃場でも
出荷回答ができるので
回答リードタイムも短縮

レスポンスの良い出荷回答で機会損失を削減

ベジネコの機能③

CSVの取り込みや出力ができるので入力作業の軽減が図れます
各種帳票類の印刷も簡単です

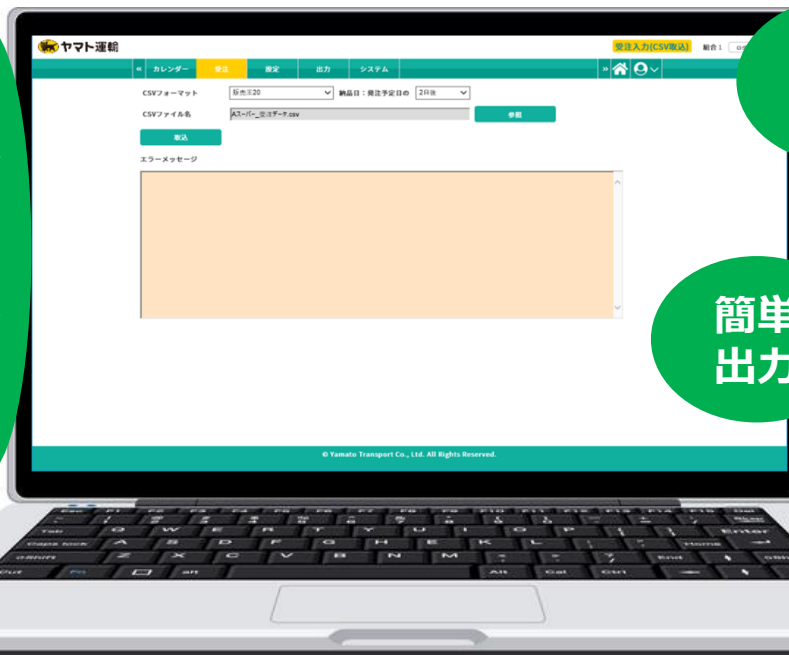


販売管理ソフト

経理ソフト

輸送伝票発行ソフト

データ連携



作成
不要

表計算ソフト

簡単
出力

- ・納品書
- ・請求書
- ・輸送伝票
- ・各種集計表

帳票類



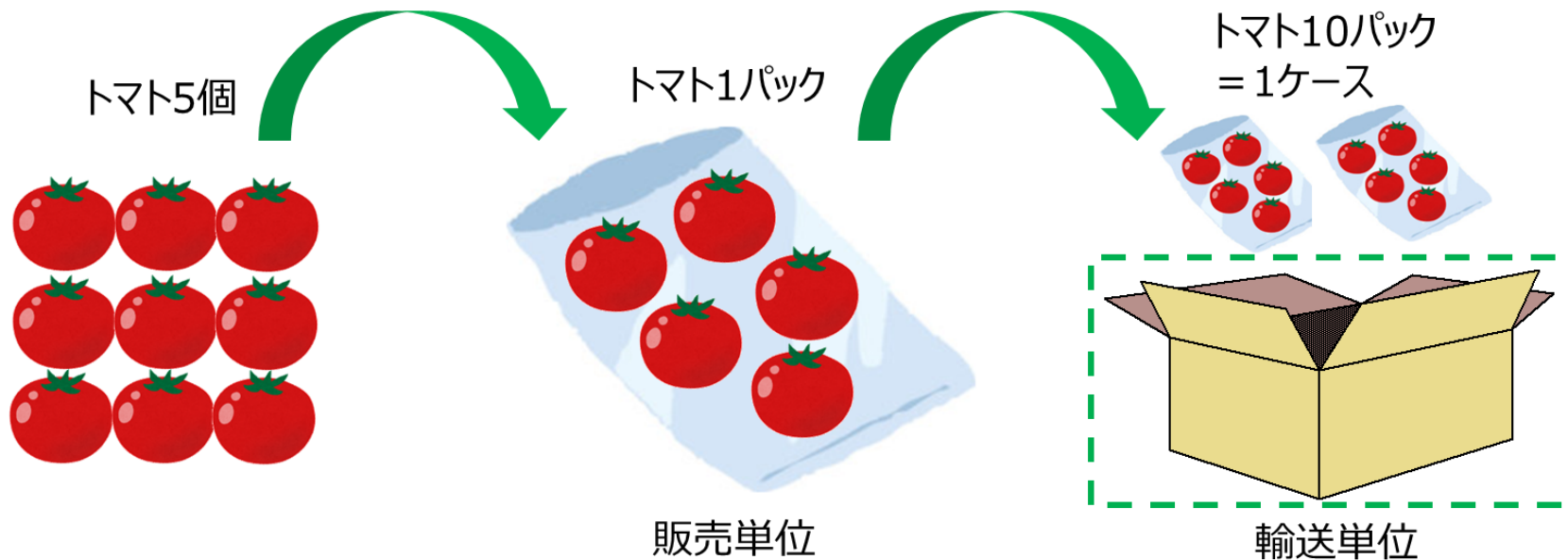
事務作業（入力作業）を軽減

共同配送について①

受注データを 活用した 共同配送

※宅急便ではありません

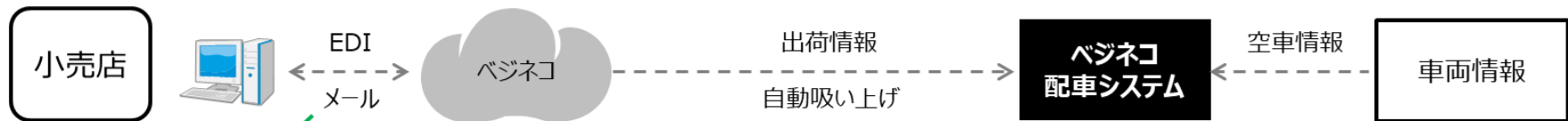
ベジネコの受注管理システムには
以下のマスタを実装しています。



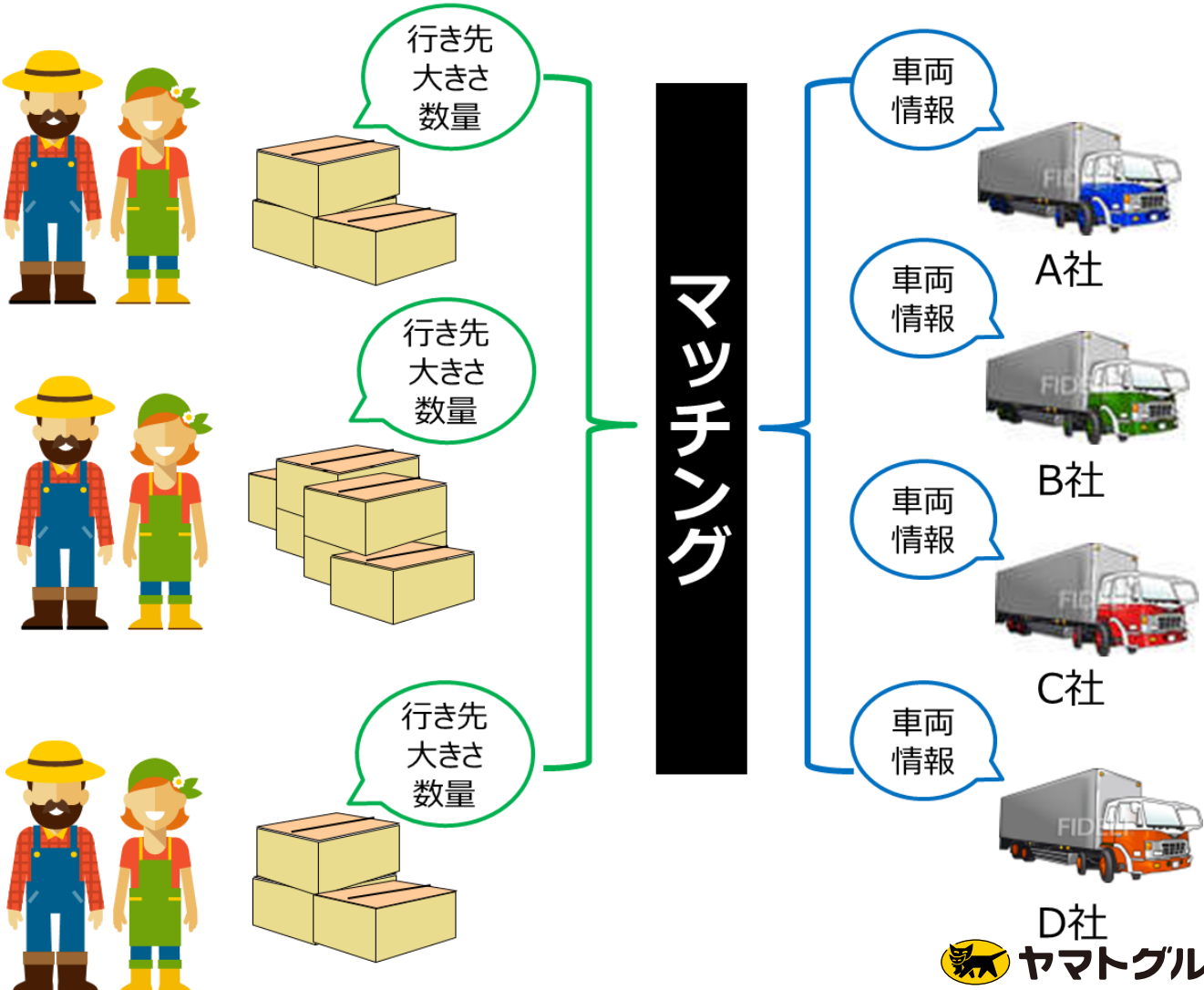
通常の受注処理をするだけ輸送容積が登録
される仕組み

縦・横・高さの大きさ

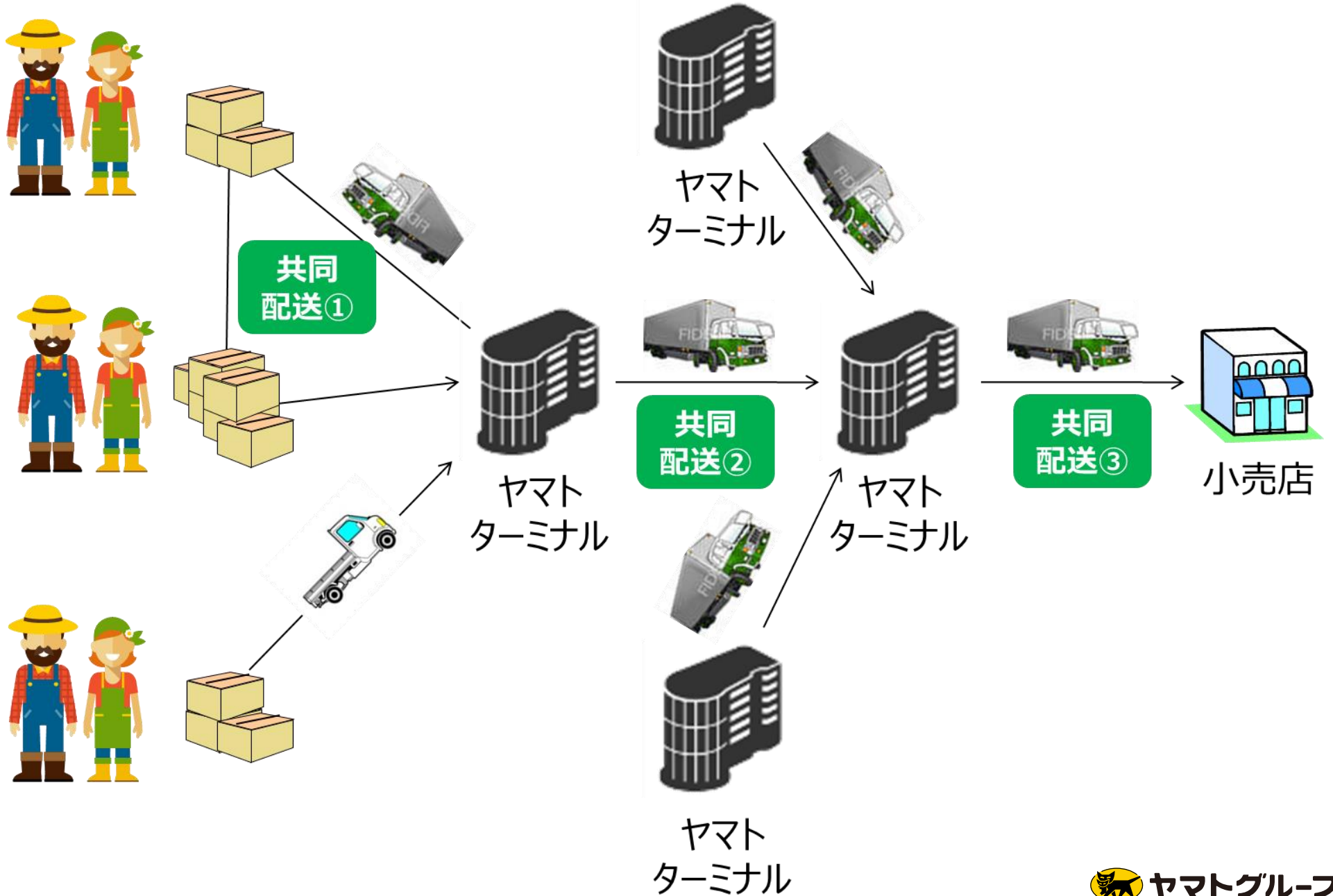
共同配送について②



青果の市場外流通は出荷日の1週間前には全体の**90%程度**の受注状況が把握出来る



共同配送について③



まとめ

対象のお荷物

小売店や食品卸、食品工場などある程度の数量の荷物が届く取引先
※個人の方行きのお荷物は宅急便をご利用ください

温度帯

常温と冷蔵（0℃～10℃）の2温度帯をご用意

効果が出るお荷物

1 納品先で20ケースから100ケースの物量
⇒チャーター貸切に近い金額でご利用頂ける予定です

料金体系

ケース（容積）でのご請求（スペースをシェアする考え）

予定していた数量が変更になった場合

宅急便は365日全国に動いている為、その車を使って対応致します

これまでお付き合いのあった運送会社さまについて

共同配送のパートナーになって頂きたいのでぜひご紹介してください

まとめ

受注管理システム

営業や商品開発時間増加

クラウド型のシステムな為、
営業先や圃場でも受注調整業務が可能。
これにより営業担当者の営業や
商品開発時間が捻出出来ます。

事務作業が大幅削減

宅急便の伝票はもちろんのこと、
納品書や請求書の作成も可能。
又、受注データを経理システムなど
他のシステムと連携する事が出来るので
煩雑な入力作業を大幅に削減出来ます。

出荷回答がスピードUP

FAXでしていた出荷回答をスマートフォンで行う事が
出来るので圃場での作業が終わってからしか回答出
来なかった出荷回答がタイムリーに出来、急な出荷
依頼にも対応出来、機会損失を減らす事が可能。

80%
減

共同配送

共同配送によるコスト削減

各地域単位で共同配送を組み
消費地までの幹線輸送を実施。
消費地では各地からの荷物を纏めて
一括納品するから物流コストを削減出来ます。

20%
減

配車作業も削減

受注データを基に自動で配車組みを行う為、
運送会社との配車連絡や調整が不要になり、
業務軽減が図れます。

毎日出荷で出荷調整不要

収穫シーズン外でも宅急便ネットワークは動いて
いますので配車が組めないなどの問題は解消出来、
出荷調整作業が不要になります。

ベジネコの受注管理システムは
初期・月額費用共に無料キャンペーン中

まとめ

受注管理システム

すぐにご利用頂けます。
お配りしている利用申込書をご記入の上、
お送りください (メール・FAX)
順次導入手続きに入らせて頂きます

共同配送

10月を目処に地域単位で開始。
受注管理システムの利用率の高いエリア
から順次開始



ベジネコを通して
農業の発展に貢献したい

ご清聴ありがとうございました